

11月28日（火）、5年3組で道徳科の努力点公開授業が行われました。

題材は、「できるようになったこと」です。5年生になり、できるようになったことを見詰め、自分のよさについて考えたり、よさを伸ばそうとする気持ちを高めたりすることができるようになります。

初めに、これまでの児童の成長について1年生から4年生までの写真を基に振り返りました。右の写真のように、階段状に写真を提示することで、階段を一つ一つ昇るように、成長してきた様子を表しました。児童は、5年生になって、これまでの学習や生活を振り返り、様々なことができるようになりました。そこで、今回はできるようになったことから、自分のよさを見付け、さらに伸ばせるようにすることを確認しました。



【児童の成長を振り返る教師】

次に、5年生になってできるようになったことを考えました。また、どのようにしてできるようになったのかも考えました。児童は、タブレットを操作して、できるようになったこととその理由や経緯をつなぎました。この後、これを使ってクイズを行いました。



【タブレットを入力する児童】

教師が児童から集めた「できるようになったこと」を選び、それが誰のことなのかを考えます。「50メートル平泳ぎでタイムが1分を切った」というカードを見て、「あ、分かった！」とすぐに手を挙げる児童がいました。そして見事正解しました。理由を聞くと、「〇〇君（A児）は、平泳ぎが得意だから」と答えました。そこで、A児が前に出て、どのようにしてできるようになったのかを「コーチに教わった」「1年生のときから練習している」と話すと、教室内に自然と拍手が生まれました。A児はとてもうれしそうにしていました。



【自然と拍手が生まれる学級】

クイズを数問した後、学習の振り返りをしました。そして、自分のよさを今後も伸ばしていけるように気持ちを高めました。



【振り返りをする児童】

児童が自分のよさを見付けることは、案外難しいです。そこで、できるようになったことを考えることでよさを見付け友達に話すことができるようになりました。そして、そのよさを友達と共有することで、うれしい気持ちになったり、もっと頑張ろう、続けようという意欲につながったりします。今後も時々、そのよさや頑張りを振り返り、児童が自己肯定感を高めていけるとよいと思います。